

依田林業新聞

クマに対する対処法

最近クマの被害が多くなってきたのを耳にします。林業は山での作業なので、クマに遭遇することは多々ありますが、被害にあったことはまだありません。しかし、クマもお腹を満たすことができないと、冬眠できません。山に食べる物が無ければ人里に降りて来てしまいます。人里との境界線が保てられなくなったことにも問題がありますが、クマにも降りてこない様に理解させることも必要です。そのためには、作業している場所や、人の気配を感じさせて降りて来れないような対策をすることも大切です。どんなことに気を付けなければならないのかを紹介します。

- 事前に入山地域の出没情報や被害情報を確認する ○単独ではなく、複数で行動する
- 明け方、夕方の入山を避ける ○撃退グッズ(忌避スプレー、鉈など)を携帯する
- 鈴やラジオなど音の出るものを携帯する
- 悪天候時や溪流沿いなど音の届きにくい状況では特に注意する
- クマの糞や足跡を見たら引き返す

依田林業で実施すること

| | |
|----------------------|----------------------|
| 作業員同士でのクマの出没情報の共有をする | 単独行動はせず、複数で行動するようにする |
| 鉈や手ノコの所持をし、警戒体勢をしておく | ラジオを大きい音で流し、作業する |
| クマを発見したら直ぐに笛をふく | 危険な場所に関しては、監督員と相談する |

発行所

(有)依田林業
塩山事務所

出会ってしまった時の対処法

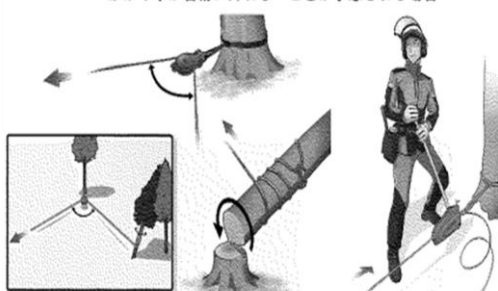
- 走って逃げない！背中を見せない！ ○目を離さず静かにゆっくり後退する
- クマとの間に木や岩を挟むようにする
- クマが攻撃してきたら両腕で顔や頭をカバーし、体を丸くして地面に伏せて防御する
- 鉈や手ノコで威嚇する

かかり木の処理の確認

かかり木の処理する作業には、危険が多く潜んでいます。林野庁の資料によると、林業における死亡災害の半数以上が伐木作業に発生しており、中でもかかり木処理による事故が多くを占めています。安全に処理できる技術をしっかり身に付けることが重要です。

前向きになれる一言
心が壊れる原因は「人の目の気にしすぎ」「承認欲求が強すぎ」「他人と比べすぎ」の3つです

① かかっている木の胸高直径が20cm以上である場合又は
かかり木が容易に外れないことが予想される場合



ブロックの内角は90度以上にしてけん引します



チルホールを使ったけん引

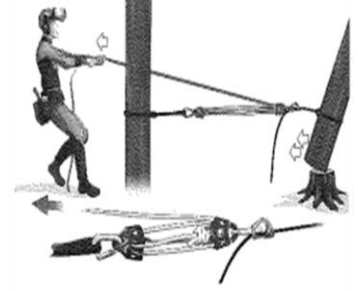
② かかっている木の胸高直径が20cm未満であって、かつ、
かかり木が容易に外れることが予想される場合



ターニングストラップを使う手法



フェリングレバーによる木回し



倍力システムによるけん引